

第1回 国有林モニターアンケート 結果概要

九州森林管理局では、「開かれた国有林」にふさわしい管理経営を行うことを目的として、国有林モニター制度を設けています。

このたび、平成22年6月に、第1回目の国有林モニターアンケートを実施し、80人中72の方に回答をいただきました。ご協力いただいたモニターの皆様方、ありがとうございました。

以下にアンケートの結果を報告いたします。なお、自由意見は抜粋して掲載しております。

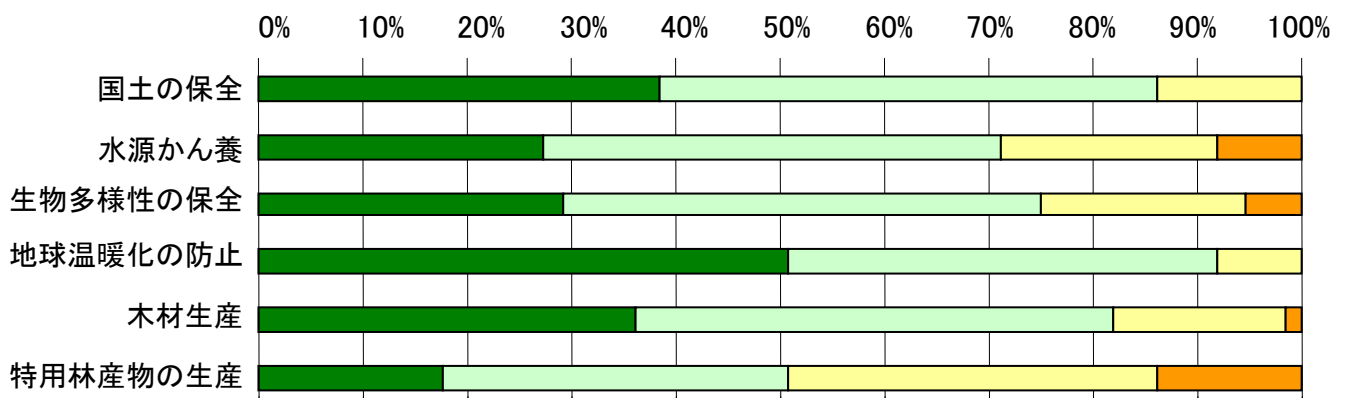
質問項目

- I 森林・林業について、国有林野事業での取組について
- II 送付資料について
九州森林管理局広報誌「広報九州」
「九州の国有林」
「平成20年度国有林野事業の実施状況について」
「平成22年度重点取組事項」
- III 国有林モニター会議について

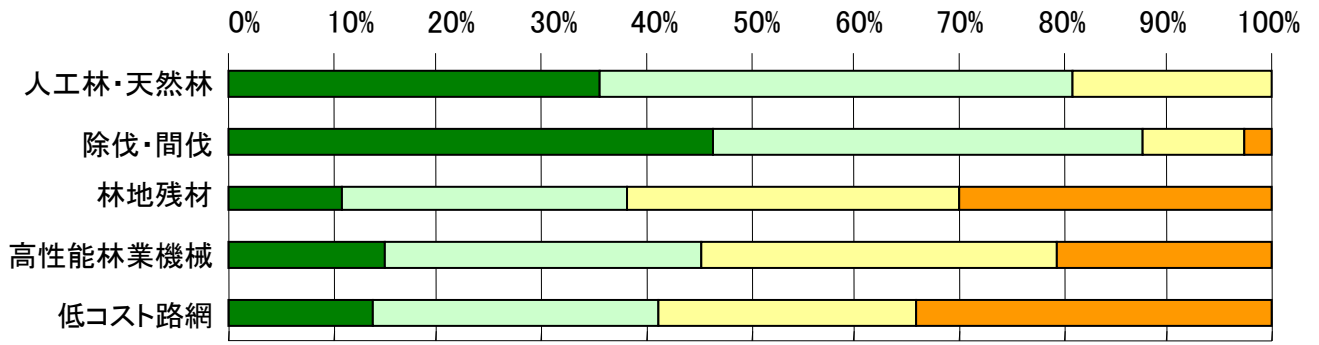
I 森林・林業について、また国有林野事業での取組についてお伺いします。

■ よく知っている ■ ある程度知っている ■ 聞いたことがある ■ 知らない

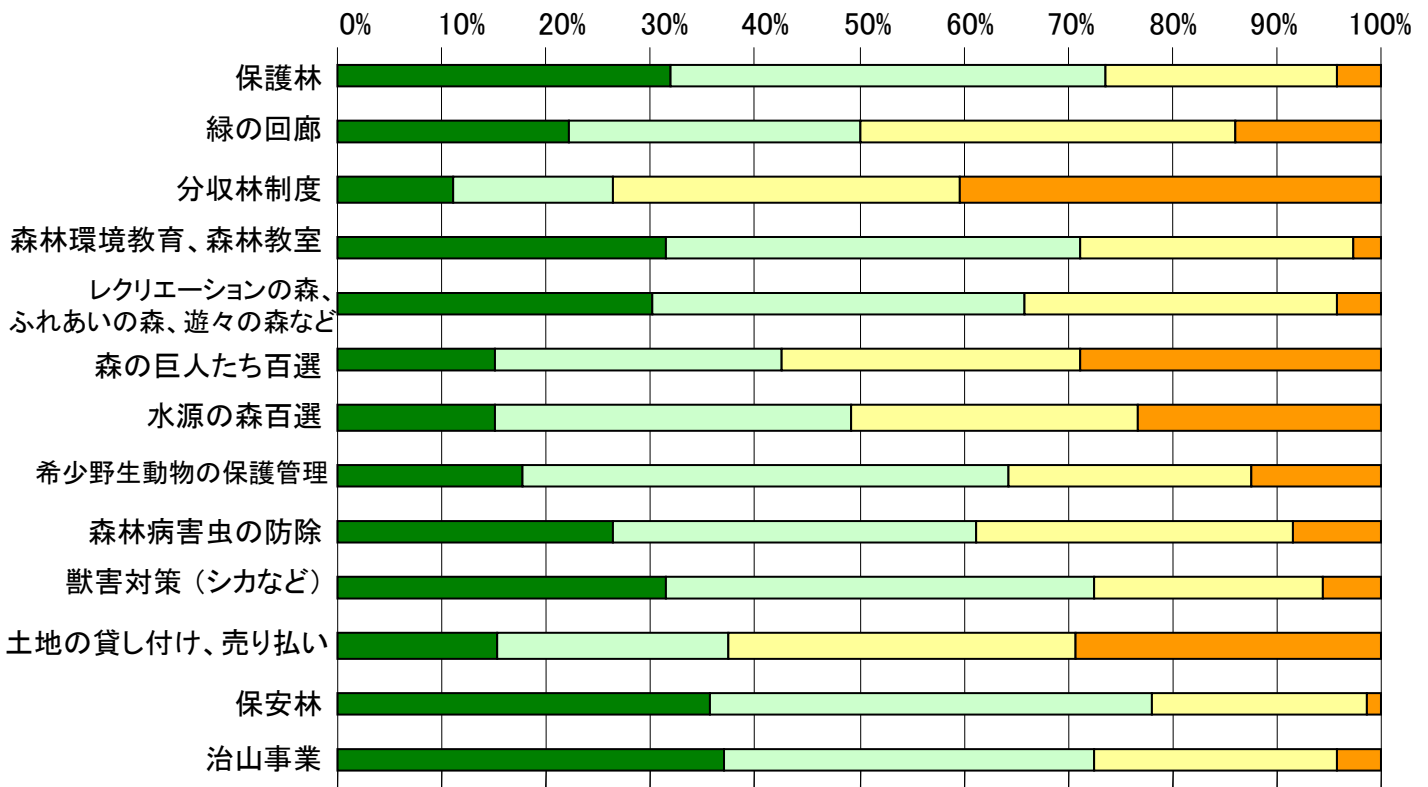
・ 森林の持つ機能について



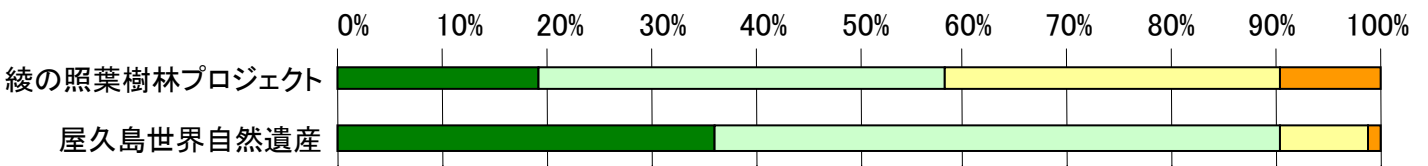
・ 林業について



・ 林野庁（国有林野事業）の取組・制度について



・ 九州管内の取組について



・その他にご存じの事業等ありましたらご記入下さい。

- ・ 地域やNPO等との連携による保護活動の推進
- ・ 緑のオーナー制度
- ・ 間伐紙の供給
- ・ 漁民の森
- ・ 首里城古事の森

・もっとPRすべきだと思う情報や事業がありましたら、お教え下さい。

- ・ 森林・林業関係者へのPRが絶対的に不足
- ・ すべての面においてPR不足
- ・ 国と県・市町村の事業（森林行政）の関連
- ・ 民有林と国有林の連携事業
- ・ 地元の国有林についての情報
- ・ 各種活動・イベントの地元新聞・テレビ活用による地域住民への周知
- ・ 身近な情報や事業をもっとPRし、多くの人に関心を持ってもらうことが必要
- ・ 財務状況の情報公開
- ・ 森林の維持管理と木材利用について、その意味と必要性
- ・ 森の巨人たち百選や水源の森百選は、地方自治体と一緒にPRすべき
- ・ 里山の保護、活用について
- ・ 森林と防災との関連について
- ・ 間伐材の利用、木になる紙

まとめ

この間は、今年度の国有林モニターになられた方々が、森林・林業、国有林野事業のどのようなことに興味・関心を持たれているか、また各事業に対してどの程度の知識をお持ちなのかを伺うものです。

今回の結果を、今後の事業を行っていく上での参考にしていきたいと思います。

自由意見では、PRが絶対的に不足している等の厳しいご意見を多くいただきました。

これらのご意見を真摯に受け止め、地元の国有林に関する情報やイベント情報など、身近な情報発信に努めていきたいと思っています。

Ⅱ 今回送付した資料について、ご感想等をお聞かせ下さい。

・ 広報誌「広報九州」について、
改善すべき点などコメントがありましたらご記入下さい。

- ・ 見やすく、とてもよい。
- ・ 管内の名山や植物解説のコーナーがよい。
- ・ 巨木・巨樹・希少植物なども取り上げてほしい。
- ・ 字が小さい、細い。字体や字数の工夫を。
- ・ 「技官の優良職員表彰」など一般読者には興味がない。
- ・ 文章が硬く、とっつきにくい。
- ・ いつ開催されたのか記述がない記事がある。
- ・ 市民の出入りの多い市町村役場においてはどうか。
- ・ このような広報誌があることを初めて知った。
- ・ 良い意見だけでなく、負の部分に対する改善の提案が見たい。
- ・ 他の管内の動静もほしい。
- ・ シカ被害など特集号があったらよい。
- ・ 専門的な言い回しや用語をなるべく使わない方がよい。または注釈がほしい。
- ・ 活動を県ごとにまとめてほしい。活動の場所（地図）も入れると分かりやすい。
- ・ 「どの森林管理署が」よりも、「どの山で」「どの県で」の方が関心を持たれやすい。
- ・ 今後の行事予定を入れてほしい。夏休み期間中のイベント紹介がほしい

まとめ

概ね好評でした。とくに名山や植物紹介のコラムは、身近な情報として感じられる、地元が紹介されて嬉しいなどの感想をいただきました。

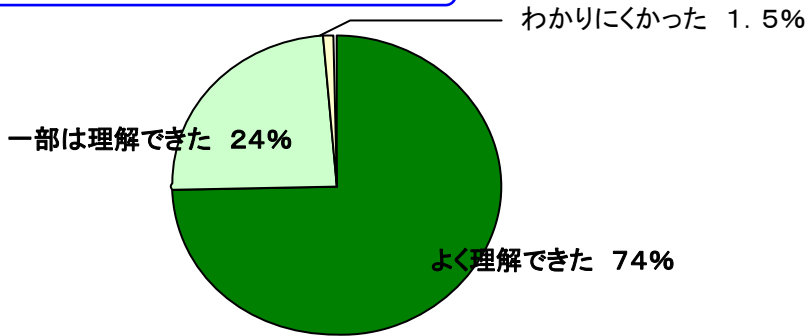
改善すべき点としては「字が小さい」「人事や表彰などの記事は一般向けの広報誌としてはふさわしくない」「専門用語に解説が欲しい」「森林管理署名ではなく、県名・市町村名で記載してほしい」など、数多くの提案をいただきました。

また「どうやって入手するのか分からない」など、PR不足を指摘するご意見も多くいただきました。

またこの問に限らず、すべての問で共通して多かった要望として「イベントや行事などの事前の周知」がありました。

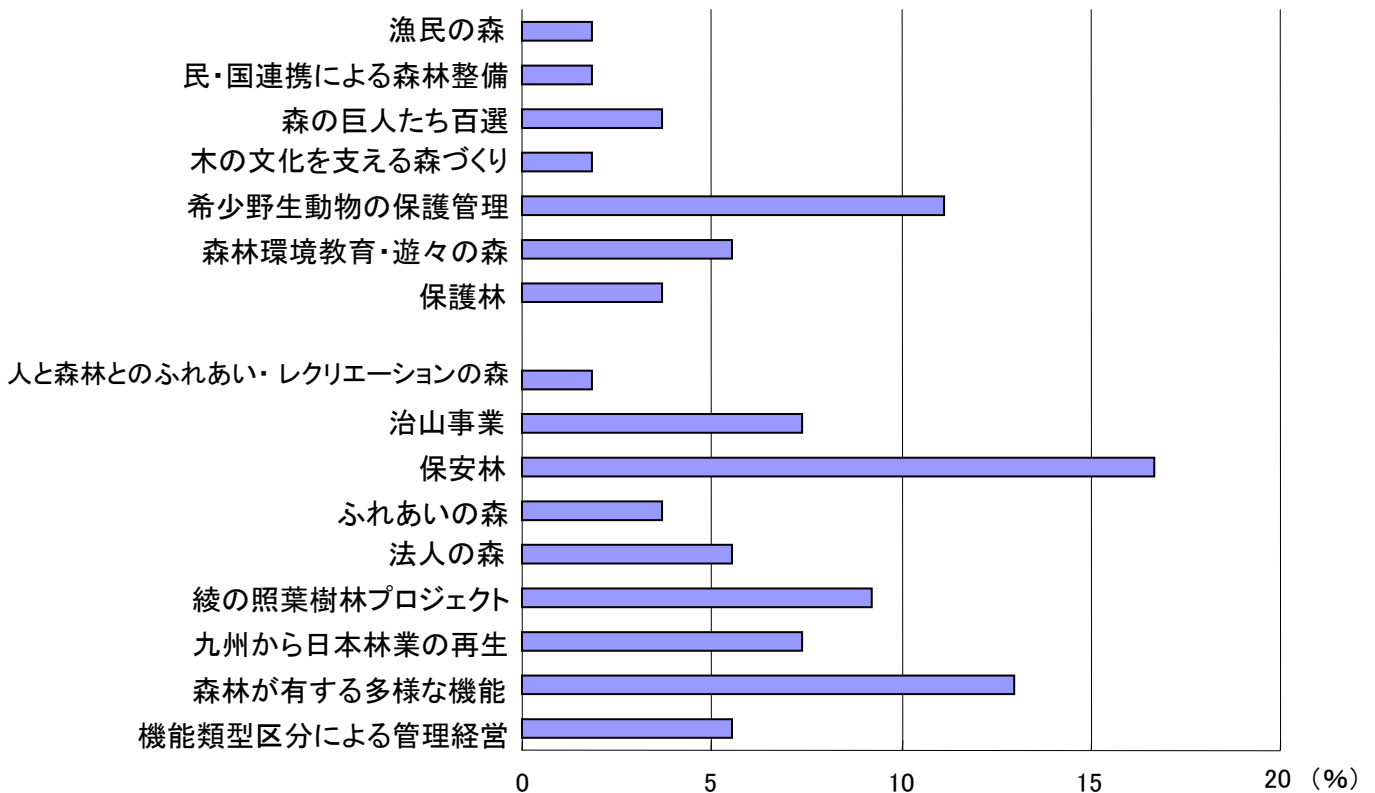
今回のアンケートでいただいたご意見を踏まえ、今後も魅力ある誌面づくりに取り組むとともに、情報発信に積極的に取り組んでいきたいと思っております。

・「九州の国有林」について。



・興味深かったこと、もっと詳しく知りたいこと等ありましたらご記入下さい。

・興味深かった項目



・その他意見

- ・九州森林倶楽部などの森林と身近でふれあえる取り組みがわかり良かった。
- ・保安林について、各県の所在を教えてください。
- ・保護林について、どのような管理をしているか知りたい。
- ・人工林から照葉樹林への復元について。今までの植林育林は無駄ということでしょうか。
- ・木材を住宅に利用したときの効果について詳しく知りたい。
- ・資源の循環利用林が12%と少なかったのが意外。
- ・川上から川下までトータルコストの縮減について、詳しく知りたい。
- ・民・国連携について詳しく知りたい。
- ・保安林の種類が多くて驚いた。魚つき保安林とは？
- ・「紙一枚からの思いやり」キャッチフレーズがとても気に入りました。
- ・希少野生動物などの一覧が興味深かった。もっと詳しく載せてほしい。

・改善すべき点などコメントがありましたらご記入下さい。

- ・ 写真や図が多く、見やすかった。
- ・ 教科書の補助教材としても使えそう。
- ・ やや物足りない。統計や文章でもう少し内容を高度化しても良い。
- ・ 民有林に対する施策についても知りたい。
- ・ 民有林なども含めた概要がほしい。その方が国有林の状況がより理解できる。
- ・ 杉の花粉症が問題になっているので、対応策を紹介しては。
- ・ 竹の侵入で困っている。竹についての取組を紹介してほしい。
- ・ 予算、事業費などの記載がほしい。
- ・ 希少野生動物だけでなく、希少植物についても知りたい。
- ・ 略称が読者にとっても不親切。用語の解説が欲しい。
- ・ 写真に「場所（県・市町村）」「時期」を添付してほしい。森林管理署名を聞いて喜ぶ読者は少ない。
- ・ 九州の国有林地図に山岳名があると分かりやすい。
- ・ イベントの情報はどう入手するのか。
- ・ 配布先、入手先のPRを。
- ・ 巻末に発行年を記載するべき。

まとめ

写真が多く分かりやすかったなど、概ね好評でした。74%の方から「よく理解できた」との評価をいただきました。

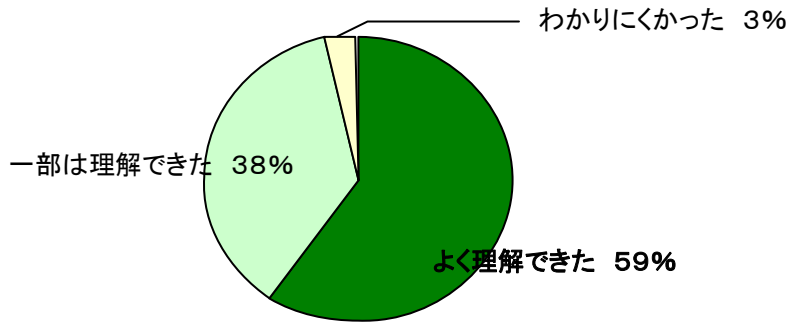
各項目別に見ると、希少野生動物の保護管理や保安林に興味を持たれた方が多く、「魚つき保安林」など各保安林の詳細について知りたい等のコメントも寄せられました。

改善すべき点としては、「用語の解説が欲しい」「写真には森林管理署名ではなく地名を記載してほしい」「入手先についてPR不足」など、広報九州と同じ指摘が数多くありました。

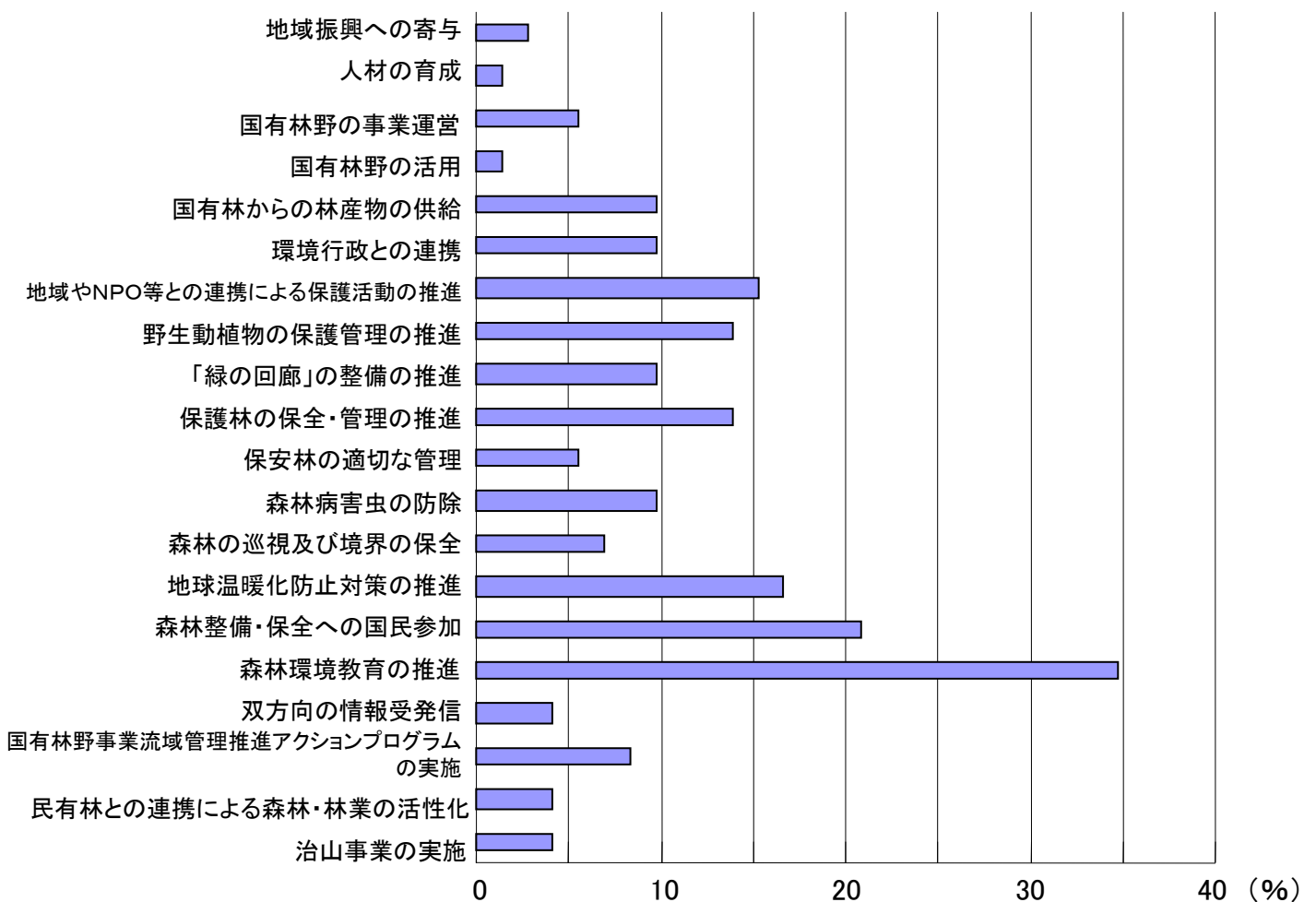
また「民有林の概要についても知りたい」など、国有林野事業にとらわれず、九州の現況について広く知りたいとのご意見も多くいただきました。

これらのご意見を踏まえ、より分かりやすい冊子を目指して、来年度以降の冊子づくりに反映していきたいと思えます。

・「平成20年度国有林野事業の実施状況について」について。



・特に興味深かった取組をご記入下さい。



・反対に、関心を引かれなかった取組をご記入下さい。

- ・ 民有林との連携。連携の中身がほとんど分からない。
- ・ 流域管理システムの下での森林の管理経営
- ・ 分収林制度による森林づくり
- ・ 林野、土地の売り払い
- ・ 国有林野の事業運営

・改善すべき点などコメントがありましたらご記入下さい。

- ・写真が豊富で見やすかった。
- ・読みづらい地名が多いので、ふりがなが付いているのは助かる。
- ・写真だけでなく、イラストを入れるのもよいのでは。
- ・写真に「時期」「場所」等の関連情報を添付してほしい。
- ・字が小さすぎる所が多々ある。
「保護林位置図」などは見開き2ページにすれば見やすくなる。
- ・各県別で内容を整理してほしい。
- ・全体的に難しい誌面作りとなっている。
- ・「事例」の箇所では、webで動画を見られるようなシステムはどうか。
- ・各活動の詳細を知りたい。問い合わせ先などを併記してほしい。
- ・専門用語に注釈がほしい
- ・コスト、経費等の記載がほしい。
- ・「年度収支」が1ページ弱で纏められているが、財政は重要な課題。国民のコンセンサスを得る為に、財務状況の情報公開のより一層の徹底を期待します。
- ・参加した人のコメントやその後の状況説明があればよい。
- ・「1 国有林野の管理経営に冠する基本方針に基づく管理経営の推進」「2 国有林野の維持及び保存」は重複するので、まとめては。
- ・林業で生計出来る方法など知りたい

まとめ

写真が豊富で見やすかったなどのご意見も多くいただきましたが、4割以上の方が「一部は理解できた」「わかりにくかった」という評価でした。

興味深かった取組では、森林環境教育、森林整備への国民参加、地域やNPOとの連携など、身近な取組に多くの関心が寄せられる傾向がありました。また地球温暖化対策や保護林、野生動植物の保護管理なども関心が高い項目でした。

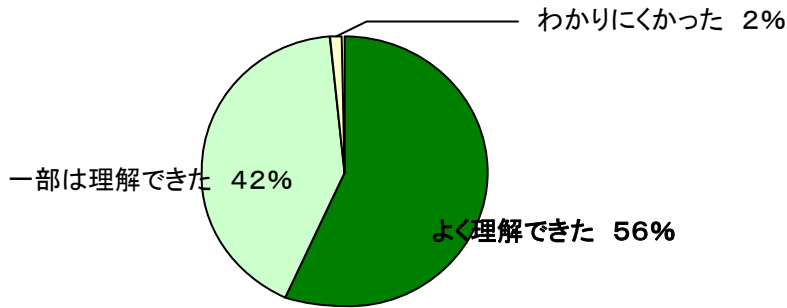
関心を引かれなかった取組については、取組そのものではなく、記事の内容が不十分なため関心を引かれなかったという厳しいご指摘をいただきました。

改善すべき点としては、「字が小さい」「写真に時期や場所の記載がほしい」「専門用語に解説が欲しい」「各県別で内容を整理してほしい」など、他の資料と共通した指摘を多くいただきました。特に「保護林位置図」については、興味深い図なので読みやすいよう拡大してほしいとの要望が多数ありました。

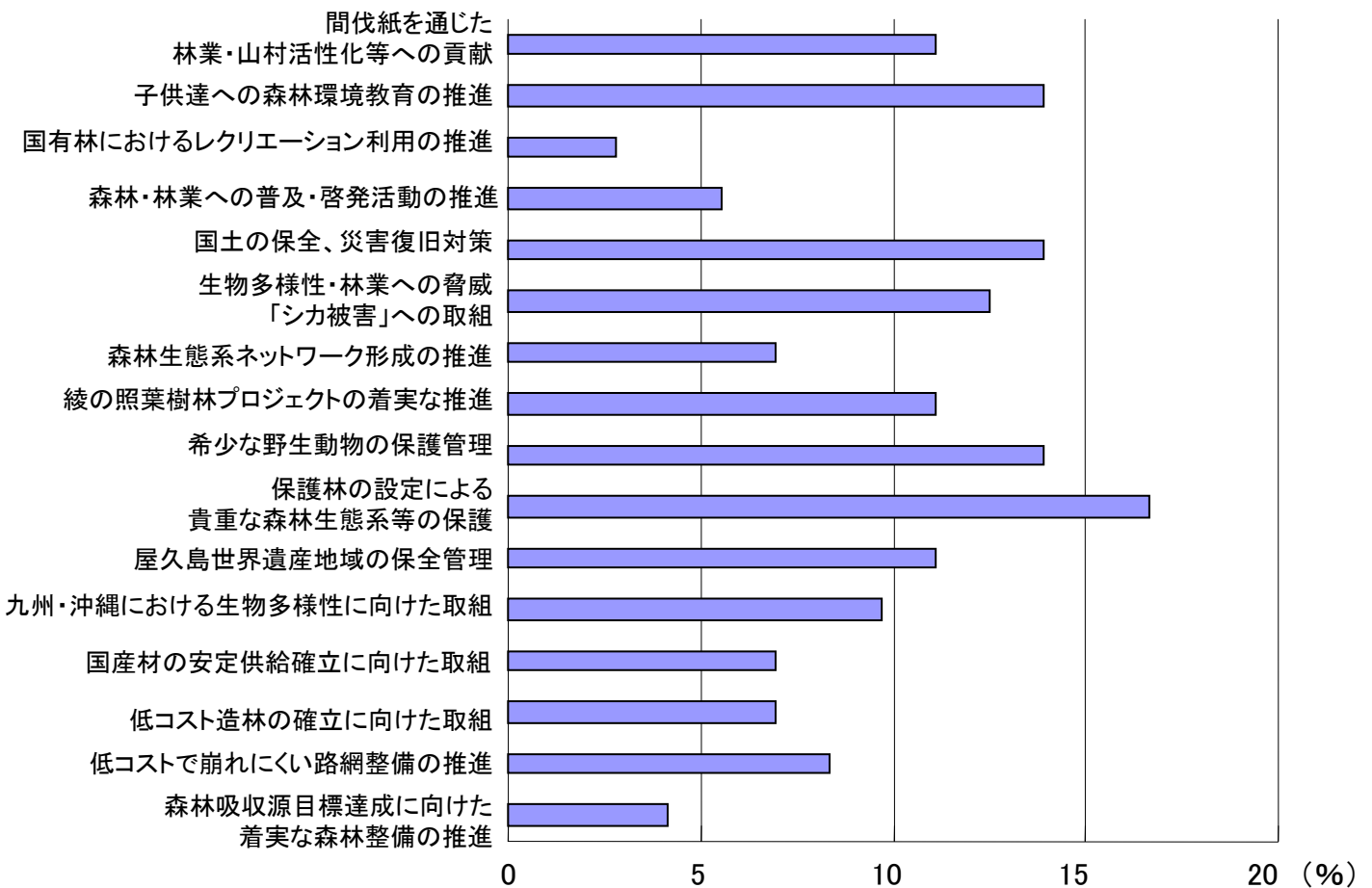
また、各事業の詳細を知りたい、コストや経費の記載がほしいという要望も寄せられました。

これらのご指摘を踏まえ、今後の資料づくりやプレスリリースなどに反映していきたいと思っております。

・「平成22年度重点取組事項」について。



・特に興味深かった取組をご記入下さい。



・反対に、関心を引かれなかった取組をご記入下さい。

- ・ 森林生態系ネットワーク形成の推進。内容的に意味がよくわからなかった。抽象的な語句は具体的な関心を引くのにマイナスなのではないか。
- ・ 総合治山事業。個人としてあまり身近な存在ではない。
- ・ 間伐紙の購入者一覧。何のための記載でしょうか。林業関係者ばかりで、民間へいかにアプローチをしていくのかが書いてないので、関心がありません。
- ・ システム販売。国有林の役割ではないのでは？
- ・ 森林吸収源目標達成に向けた着実な森林整備の推進。具体的な対策が見えてこない。
- ・ 流域管理システムの下での民・国連携の取組。
- ・ 低コスト造林の確立に向けた取組。
- ・ 国産材の安定供給確立に向けた取組。

・改善すべき点などコメントがありましたらご記入下さい。

- ・ 図やグラフ、写真などを使い分かりやすかった。読みやすく、配慮の行き届いた編集だった。
- ・ 字のフォントも違うし、大きさもまちまち。添付資料を見るのに縦にしたり横にしたりと、大変読みにくい。
- ・ 写真等で事例をもっと挙げてほしい。
- ・ ページ先頭の「見出しタイトル」が読者目線でよかった。
- ・ ページごとの見出しを、分かりやすく、目立つような工夫がほしい
- ・ 冒頭に「趣旨」が記載されているが、もっと最終効用にまで触れてあれば理解が深まる。経済性がある取組、経済性は薄い「国家百年の計」の為に必要など、国民目線での「納得情報」の併記があれば有意義です。
- ・ 普及啓発のための情報発信がまだまだ少ない。情報の周知徹底を。
- ・ 内部資料の要素が強く、外部（一般市民）に出す資料としては詳しすぎる。
- ・ 専門用語に注釈を入れてほしい。
- ・ 各事業について、もっと解説が欲しい。
- ・ 事業等に係る予算の併記を。
- ・ 温暖化対策（間伐）の推進状況について知りたい。
- ・ 実際に現場をみたり住民の話などを聞いてみないと、資料だけで評価をすることは難しい。

まとめ

読みやすかったなどのご意見も多くいただきましたが、4割以上の方が「一部は理解できた」「わかりにくかった」という評価でした。

興味深かった取組では、森林環境教育、保護林、野生動物の保護管理、屋久島や綾のプロジェクトなどの他に、治山事業や間伐紙、シカ対策なども関心を集めていました。特に治山事業については、木材を活用した工法や溪流生態系に配慮した工法についてももっと詳しく知りたいというご意見が目立ちました。

関心を引かれなかった取組では、内容や趣旨がよく分からないという厳しいご指摘をいただきました。

改善すべき点としては、「字体などに統一性がない」「内部資料の要素が強く一般向けではない」「専門用語に注釈がほしい」「予算やコストなどの情報がほしい」などの指摘をいただきました。また各事業について、もっと詳しく知りたいという要望も多数ありました。

様々なご指摘、ありがとうございました。今後の資料づくりに大いに役立てていきたいと思っております。

Ⅲ 今後、「国有林モニター会議」で訪れてみたい場所、見学してみたい事業等がありましたらお聞かせ下さい。

屋久島や綾など知名度の高い場所を訪れ、保全管理のあり方について学びたい等の要望に加え、レクリエーションの森や地元の国有林など、身近な森林について知りたいという意見が目立ちました。

毎年の傾向ですが、環境問題や自然保護に関心があり、保護林などを見たいという方と、林業に関心があり事業現場を見たいという方に大別されるようです。

第1回目のモニター会議の案内まで今しばらくお待ち下さい。

ご協力、誠にありがとうございました。